

## 「道路老朽化対策」パネル展を開催 ～老朽化する道路施設を次世代に引き継ぐために～

平成26年6月16日から8月末までの期間で、  
各自治体庁舎にて一週間程度、**「道路老朽化対策」パネル展** を実施します。

高度経済成長期に集中的に整備された道路施設は、急速な老朽化の進行が確実で、その対策は喫緊の課題となっています。今後老朽化が進行する道路施設を可能な限り健全な状態で、国民の共有資産として次世代へ引き継いでいくことが重要である一方、多くの道路施設を管理する地方公共団体は、予算・人員・技術の面等で様々な課題を抱えています。

静岡国道事務所では、今後大きな課題となっていく「社会インフラの老朽化問題」について、広く一般の方に理解していただくため、老朽化パネル展を開催しています。

### パネル展の様子



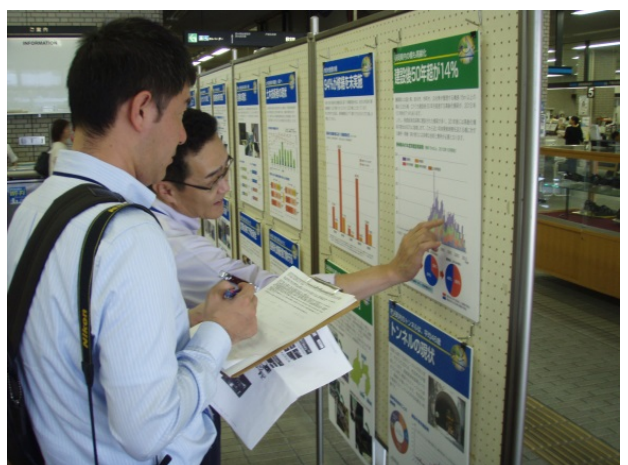
静岡市 清水区役所1F(6/16～20)



焼津市 大井川庁舎1F(6/23～27)



会場ではアンケートも実施中です



マスコミへの説明も行いました

静岡県内では、平成26年6月4日に国、県、市町村等からなる「静岡県道路メンテナンス会議(会長:静岡国道事務所長)」を発足し、道路施設の予防保全・老朽化対策の体制強化を図り、円滑な道路管理の促進と道路構造物の予防保全・老朽化対策を進めています。